

開催記録

名 称	第2回会津美里町本郷地域教育施設等整備検討委員会
開催日時	令和4年11月8日（火）午後6時00分～午後8時15分まで
開催場所	本郷生涯学習センター
出席者	（委員） 藤田委員・小関委員・長嶺委員・冠木委員・佐藤（信）委員 鈴木委員・横地委員・森山委員・吉田委員・佐藤（義）委員 （順不同） （事務局） 歌川教育長・渡部課長・小野主幹兼指導主事 長嶺学校経営アドバイザー・榎森こども教育係長・菊地総務係長
議 題	協議 （1）基本体制（理念、校名、教育課程基本方針等）について （2）周辺整備（校歌、校章、スクールカラー、制服等）方針について （3）意見交換
資料の名称	「第2回会津美里町本郷地域教育施設等整備検討委員会」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>1、開会（省略）</p> <p>2、教育長あいさつ（省略）</p> <p>3、説明（事務局より説明）</p> <p>○本郷地域の義務教育学校設立保護者説明会（10/12）について</p> <p>○保護者・児童生徒アンケート結果について</p> <p>（委 員）保護者アンケートの分母を教えてください。</p> <p>（事務局）小学校165、中学校99、こども園150である。</p> <p>（委 員）40%前後の回収率だったのか。</p> <p>（事務局）そのとおり。実際は40%より若干下回る。</p> <p>（委 員）義務教育学校とはなんなのか、小中一貫校との違いなどを分かっていない保護者が多い。この検討会を立ち上げる前に義務教育学校を立ち上げる説明はあったのか。</p>	

(事務局) 5月に3地域で保護者向けの説明会を開催した。その中で義務教育学校についても説明をしてきた。

(委員) その説明会の内容を把握していない方が多いということだと思う。小中一貫校と義務教育学校の決定的な違い等をわからない保護者が多い。高田と新鶴は小中一貫校なのに本郷はどうして義務教育学校なのか。そういう疑問に対して説明があると安心できると思う。

(事務局) 義務教育学校のメリットは小中の区分がないことである。小学校の先生と中学校の先生それぞれが一つの義務教育学校の先生になる。本郷は校舎が隣接しているのでさまざまな形態で授業を行うことができる。9年間の学校なので、それぞれの先生が持っている教科を使ってうまく授業を作り上げることができる。また、幅広い年齢の異学年集団の中で生活することによって、社会性を身に着けることもできる。教員の配置という観点からもメリットがある。保護者のみなさまが不安を持っていることも承知している。検討会等の場でみんなで意見を述べ合ってよりよい学校を作り上げていきたい。

(事務局) 保護者の方への情報の伝え方については内部で検討した内容を紙で回答していくということを検討している。次回の検討委員会で回答を確認してからなので、配布時期は1月頃を目指したい。

(委員) 今後保護者が相談する方法はどのようになるのか。

(事務局) 方法については内部で少し検討させていただきたい。教育委員会で一括して質問を受けて回答していけるようにしていきたい。

(委員) 前回の説明会の後にコミスクの方から預かった質問だが、多くの保護者の方が義務教育学校について知らないということがとても不安、ということであった。保護者に寄り添う形で説明する場所をもっと作っていかなくてはならない。

(委員) プロジェクトの説明会資料からは、今後実施していく事柄はわかるが、義務教育学校のメリット・デメリットが見えてこない。そのようなことが分かるための仕組みも必要だと思う。

(事務局) 義務教育学校に関することや会議の内容等をHPなどを使って周知することも可能。また、アンケートの内容についても説明会を開けるか検討し、保護者の方により理解を深めていただく方法を考えたい。

(委員) 本郷こども園の移転について、さまざまな面から今の場所が良いという意見が多い。移転すれば面積も狭くなり、車の送迎の危険性もある。改めて現場の先生方の意見を聞きながら検討してもらえるとありがたい。

(事務局) 現場の声は今まで機会のある度に聞いてきた。現在の本郷こども園の自然環境が素晴らしいというお話も受けてきたところである。現段階で移転が決定という訳ではないが、物理的に移転には厳しい面もあり、すぐに実現するのは難しいところである。総合的な判断が必要になると思う。

(委員) 今の園舎が設備としてもたないと考えてよろしいか。

(事務局) 旧幼稚園は老朽化が進み解体が必要。

(委員) 園舎の老朽化が問題にあったとはわからなかった。そのような情報が保護者に伝われば違ってくると思う。

(委員) デイサービスセンターと一体化している乳児部はまだ大丈夫か。

(事務局) そちらはまだ問題ない。旧幼稚園の園舎を解体しこども園が移転すれば、乳児部の建物が空く。そこに子育て支援センターを入れるという流れである。

(委員) そのような説明も追加していただけると、コミスクの方も保護者も理解しやすいと思う。

4、協議（座長：佐藤委員長）

(1) 基本体制（理念、校名、教育課程基本方針等）について（事務局より説明）

(委員) あるものを生かしつつ残した方がよいのか、みなさんから集めたもので新たに作った方がよいのか、どちらがよいのかというところを考えなくてはならないと思う。キャッチーなものを作って、みなさんに分かりやすい言葉の方がずっと頭に入ってくると思う。小学校・中学校合わせて9年間の理念を作るということによいか。

(事務局) そのとおり。

(委員) 事務局でお話されたもので異論がなければ、これで良いと思う。やはり生きる力を育ててほしいという思いと、夢というものが大事だということを感じている。先ほどの説明の中で夢についてお話があったので、私はこの内容でよいと思う。

(議長) キーワードはやはり3つくらいがよいと感じる。その中から先ほど夢についてお話をいただいた。ということで、この案を進めるということによろしいか。

※異論なし

①どのような義務教育学校をつくりたいですか。どのような生徒を育成したいですか（事務局より説明）

(委員) コミスクに参加している中で、事務局提案にあったものと同じような言葉を良く耳にする。このような言葉でよいと思う。

(委員) 非常にわかりやすく、低学年の子もわかるのではないかと感じた。

(委員) ここに書かれていることは日々我々が心がけていることと同じなので、良いと思う。

(委員) 夢という言葉などを核に進めていくということにさせていただけるとありがたい。

(事務局) 今回夢という言葉を表に出さなかったのは、学校は夢を実現する場ではないからである。夢を実現させる力をつけるところが学校である、という考え方である。もっと大きな構想を考えるとときに夢という言葉を使うのもよいと思うし、逆に教育目標に下すときに夢というものを使ってもいい。今回提示させていただいた児童生徒像の背景にある理念は、はっきりと別に記録していくべきと考える。

(議 長) 今回提示した児童生徒像の理念というものを別な形で記録していくということ、また教育目標等にその理念をきちんと反映させていくというお話があった。そのようなことで異論はないか。

※異論なし

②校名と込められた思い・理由（事務局より説明）

(委 員) 河東学園は正式には河東学園義務教育学校なのか。

(事務局) 文部科学省の通知では必ずしも義務教育学校という言葉を入れなくてはならない、とはなっていない。河東学園のみでよいと思うが、念のため再度確認する。

(委 員) 会津という言葉はブランドだと思うので、私は会津本郷義務教育学校が良いと思うことと、本郷学園義務教育学校だと学園と学校が一緒になっており、なんとなくわかりづらいつと感じる。

(事務局) 学校名の前には会津美里町立という言葉が入ることもご考慮願いたい。

(委 員) いろいろと確認しなくてはならないところもあると思うので、本日は本郷という言葉を必ず使うということだけ確認できればいいのではないか。

(委 員) その意見に賛成。検討委員会で決めてしまうと校名が決まってしまうということか。

(議 長) 検討委員会での議論は強い意見になる。最終的には教育委員会が定例会等で決定していく。

(事務局) 校名の変更は議会に上程していくことになる。まだ時間はあるので、今回必ず決めなくてはならないということではない。

(議 長) 義務教育学校という言葉を使わなくてもよいということになれば、本郷義務教育学校と会津本郷義務教育学校は地名のみになってしまうので、必然的に本郷学園義務教育学校になっていくと考えるがどうか。

(委 員) 賛成である。略称のことを考えると、その選択肢しかないと思う。

(議 長) では、現段階では本郷学園義務教育学校という方向で進め、次回決定することによってよろしいか。

※異論なし

(2) 周辺整備（校歌、校名、教育課程基本方針等）について（事務局より説明）

①校歌（詞）の作成について

②校歌（曲）の作成について

(事務局) 校歌は子ども達からフレーズを募集し集約し、そのフレーズを元に専門家が歌詞を作る。その後、できあがった歌詞を元に作曲を依頼する方法としたい。

(委 員) 新しい学校を開校するにあたって、子どもたちの思いを盛り込んでいくという方向性でよいと思う。今ある歌詞を合わせることは著作権の問題もあるので、事務局の案で良いと思う。

(委 員) 子どもたちの思いが入ることは大事だと思う。今あるものを合わせることは難

しいので事務局の考えで良いと思う。

(事務局) 専門的な見識がある方のお名前をいただければありがたい。

(委員) 地元の方がいいと思う。どうしてもいない場合は広げていくという方向性がよいと思う。

(委員) 学校の先生も選択肢として検討願いたい。

(委員) 音楽の教員にやらせるのは業務多忙の中で厳しいと思う。

(委員) 今現在教職をやっている方でも、譜面を作ることができる人もいると思う。

(議長) いろいろな方法で事務局に人選をお願いするというところでよろしいか。

※異論なし

③校章について (事務局より説明)

(事務局) 児童生徒に案を募集し、それらを集約してデザイナーに依頼をしていくという方法をとりたい。

※異論なし

④スクールカラーについて (事務局より説明)

(事務局) アンケート結果も踏まえ、現在の本郷小学校、本郷中学校のスクールカラーはどちらも青を基調としている。現段階で同じ色なので必ずしも色を変えなくてはならないということではない。現行の青を基調で進めたい。

※異論なし

⑤制服について (事務局より説明)

(事務局) 校歌・校章については、事務局も含めた部会を作りそこで検討する、また制服・運動着については、現在既に変更の検討が進められているので、学校を中心に引き続き検討していただく。

(委員) 義務教育学校は9年生になるが、7年生以上が制服を着るということになるのか。

(事務局) アンケートを元に分析するとそういう考えが多い。

(委員) 他の義務教育学校ではどうなのか。

(事務局) 県内の主な義務教育学校では今回のアンケート結果と同じような形になっていると思う。私立では1年生からというところもあると思うが、公立ではあまり耳にしない。

(委員) 学年の区切りと制服を着る区切りがずれてしまうとおかしいという意見も出てくるのではないか。

(事務局) 制服を着るタイミングは、例えば5年生から着るということも可能だと思われる。制服さえ決めてしまえば、後の議論で着るタイミングを整理していくこともできる。逆に低学年から制服にしてしまう方が安上がりであるという考えもある。

(委員) 中1ギャップ等の話も以前あった。制服を着るタイミングを現在の中学1年生

からということで果たしてよいのか疑問も残る。

(事務局) 重要な視点である。さらに今後も検討していただきたい。

(委員) 制服にはお金がかかるというイメージがついて回る。例えば小学校4年生から制服を着るということになると小学生の保護者からも意見を聞かなくてはならないと思う。

(議長) 事務局よりデザインについては多様性という観点からの配慮も必要との話があった。また、委員の方からは制服を着るタイミングや保護者負担について意見を頂いた。今後も引き続き細部について検討していただくということでよろしいか。

※異論なし

(3) 意見交換

※特になし

5、その他

(1) 次回の案内 (事務局)

(2) その他 (特になし)

※終了 (午後8時15分)